

報道機関に依頼する事項に○をつけてください

①実施する事業の紹介

②催事等の参加者募集

③催事等の当日取材

報道取材情報（沼津市）

令和3年3月22日（月）発表

名称等	内浦・西浦地区の小・中学生が制作した「こどもローカルマガジン：うらっち」の市長への完成報告		
実施日時	令和3年3月30日（火曜日） 13時～		
場所	沼津市役所4階 特別応接室		
担当	企画部 地域自治課 直通 055-934-4716 内線 2272		

1 内容

昨年、内浦地区と、西浦地区の有志*により、小学生・中学生が地元を取材して作る地元情報誌「こどもローカルマガジン（以下、コロマガ）：うらっち」制作プロジェクトが立ち上がり、今年1月に発行することができました。

制作されたコロマガは好評で、先日1,000部の増刷がされるような状況であり、プロジェクトの集大成として子どもたちから市長へ完成報告をすることとなりました。

※両地区のコミュニティ推進委員会も参画

2 来庁者

- (1) コロマガ制作に携わった小・中学生 4～5人
- (2) 事務局スタッフ
・朝倉 一哉（代表事務局長, 平沢マリンセンターセンター長）
・山田 貴久（みかん農家 東山農園, 南駿農協青壮年部副部長）
・渡辺 頼子（駿陽荘やま弥 若女将, 地域おこし協力隊支援員）
・土屋 真美（いけすや店長）

3 経緯

プロジェクトは、地方都市が抱える課題の1つである、人口減少・人口流出に対し、その原因を大学等で地元を離れた後、帰郷して地元で生活をしていこうと思えるような「地元愛」が不足していることにあると考え、コロマガ「うらっち」を子どもたちの手で取材し、発行することで、若者への「地元愛」を幼いころから醸成し、解決していきたいという思いで実行されております。



4 経過

令和2年度の事業の実施にあたっては、2020年度静岡県地域・企業等連携型農村再生デザイン事業費補助対象事業制度を用いて実施されました。



5 その他

補助を受けなくても、活動が継続的に行えるように、同プロジェクトでは、昨年、内浦地区・西浦地区をデザインに盛り込んだオリジナルTシャツを作成し販売しました。自治会や学校の先生方から約900枚の購入があり、今年は、ポロシャツを販売予定です。*
※ポロシャツは、内浦・西浦地区の一部店舗で一般向けの販売を予定しています。
※先行して市職員向けに募集したポロシャツには、こちらのプロジェクトを支援したいという思いから、内浦・西浦地区に関係ある課を中心に約20の課の職員から購入の希望がありました。